
HENTAI's LIFE

カイト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

HENTAI-S LIFE

【ZPDF】

Z98280

【作者名】

カイト

【あらすじ】

20××年、世界は隕石が衝突して破滅する」ともなくエネルギー不足が深刻な訳でもなく平和だった。
ただ一つ、今と違つて妖怪や魔物の類のものが「」へ日常的に出現していた。

世界政府はこれに対応するために高校を対魔学校に変更。

これはとある対魔学校で繰り広げられるただの馬鹿騒ぎである。「

さあ、今日も元気に幼女のために魔を払いしますか！」

プロローグ・変態の朝は幼女と共に

一人の少年が歩道橋の上に居て下を眺めている。

彼は思い悩んでるわけでもありがちな飛び降り自殺をしようとしているわけでもない。

学校からの選択課題として仕事をこなしているのだが彼がこの仕事を引き受けたのにはもうひとつ理由があった。

それは……

「はあ……やっぱ小学生は可愛いなあ……」

彼は口つゝンだつた。

どうしようもないぐらいに幼い少女が好きだつた。

彼がそのまま小学生を見ていると突然爆音が響き渡つた。

彼がその音のほうに目を向けると暴走族が乗るようなハーレーにヘルメットも被らずに長い銀髪をなびかせながら走る少女とそれと同速度で追いかけるツインテールの少女。

そのまま首だけ右に向けると十数人の♂を引き連れて優雅に道を歩く少年を見つける。

その後でスライムみたいな物ややけに小さい少女といまどき珍しくおかっぱの少女などが通つたのを確認した後

「本日も問題なし……つと」

そうして歩き出そうとした時

「きやあああああ！」

歩道橋の下で叫びが聞こえ少年が素早く振り返ると尻尾が一股に分かれている巨大な猫にさつきの小学生が襲われていた。

「猫又かー……朝の運動にはちょっと物足りないかなー？」

少年はそのまま歩道橋から飛び降りる。

そして一言呟く。

「トリックオアトリート！」

その瞬間少年の体が宙に浮き猫又を見据え言つ。

「さあ、少年少女を苛める奴にはお仕置きだ」

少年が手を振りかざすと蠅燭のような錐が猫又に向かつて飛んでいき猫又を串刺しにする。

「…………ツ！？」

猫又は声にならない叫びを上げそのまま霧散した。

それを見届けてから少年は通学路に降り立ち立ち去りふとすると小学生達が彼を呼び止めた。

「あの……お兄ちゃんありがとう」

「んーかわいいな……これが僕の仕事だから気にしなくていいよ」「皆も大人になつたらこうこうことをするようになるとと思うからそれまでは小学校や中学校がんばってね」

小学生の頭を撫でながら言ひと弾けんばかりの笑顔で小学生達は言ひ。

『うん！ お兄ちゃん！』

「じゃあ僕は行くからまたね～」

少年はそう言つて上を見る。

するとビルから黒い覆面のよつなマスクにマフラーと忍者風の制服を着た少年が飛び降りてきた。

そのまま音もなく目の前に着地した少年を見て

「ごめんね、烈人君。待たせちゃつたみたいだね」

それに忍者風の少年は看板を取り出し

『大丈夫です、では学校に行きましょうか』

「うん、そうだね」

「あ、お兄ちゃんの名前は？！」

学校に向かおうとしたとき小学生の一人が聞いてきたので少年は振り返り言つた。

「遊離だよ、芦屋遊離」

そのまま手を振つて別れ今日もまた彼の学校生活が始まった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9828o/>

HENTAI's LIFE

2010年11月19日21時54分発行